

地域医療を育てる会 情報紙

クローバー

CLOVER



発行表 NPO法人地域医療を育てる会
藤本晴
http://iryousodateru.com/
平成23年8月20日発行
東金市東金1142「東金の家」内
TEL:090-7634-7175

前回のクローバーでは、慢性腎臓病（CKD）を取り上げました。慢性疾患の患者による医療費の増加は、今後ますます深刻になってくるでしょう。このような事態を回避するために、生活習慣病の予防と病気の早期発見が大切。今回は特定健診の最中に東金市市民福祉部健康増進課と国保年金課のお二人にお話を伺いました。

健康ですか？ 検診、受けてらますか？

東金市の場合、国民健康保険（国保）加入者のうち、特定健診を受けている人は40%弱。皆さんはこの数字をどう思われますか？

私（藤本）はこの数字を知って「少ないなあ」と驚きました。ところが「この数字、近隣の自治体の中では高いほうなんですよ」と聞いて二度びっくり。

病院の検査と、検診は同じ？

藤：どうしてこんなに受診率が低いのでしょうか？

市：以前に行ったアンケート調査で、検診を受けない人にその理由を聞きました。主な理由のひとつは「病院に定期的に通っているから」というものでした。病院で検診と同じ検査をしていると誤解している人も多かったし、行政側も3年前までは医療機関にかかっている人はそこで健康管

理をしてもらっているのだと考えていました。

藤：確かに、私も3ヶ月に1度通院していて、毎回尿検査や血液検査をしています。検診でも同じことをするのなら手間がかかるだけ、と考えてしまいました。

市：尿や血液を採ったあと、いろいろな項目に従って検査をします。この項目が、医療機関と検診で異なる場合があります。医療機関の中には、念のためにと幅広く検査をするところもありますが、患者さんの病気に関する項目に限定しているところもあります。その場合、検診で行っている検査項目はノーチェックになってしまいうのです。

藤：なるほど、確かにいつも病院の診察室でお医者さんが検査項目を決めるとき、パソコンの画面にはたくさん項目が並んでいますね。その中から、お医者さんが選んだ項目だけを検査しています。検査は、そ

の中身が大切なんです。

市：ですから、医療機関に定期的にかかっている人でも「医療」と検診は別のもの」という意識を持っていただきたいです。

自覚症状が出てから検診？

藤：他に、検診を受けない理由として目立つものはありますか？

市：「自覚症状がないから」という方も多くいます。検診の対象になっていく病気が、どれも最初の頃は自覚症状が出にくいものです。「なんだか調子が悪い」と感じる頃には、かなり症状が重くなっているものもあります。しかも、そうなる前から治療をしても、元の状態には戻れないのです。

藤：前回のクローバーで取り上げたCKDも、まさにそのような病気でした。「なんだか具合が悪い」と思ったら、病院へ。好調なときは検診で早期

発見を！ということですね。

ところで、9月29日から東金市の総合がん検診がスタートします。早期発見・早期治療がとても大切な「がん」ですが、初期の段階で見つかったがんを治療した場合と、かなり進行したがんを治療した場合で、どのくらい治療費に差が出るのでしょうか？

インターネットにある「がん治療費.com」というサイトから、主なものを集めてみました。（裏面：表1）

これを見ると、どの「がん」も早期に治療をするに越したことはありませんね。

東金市の場合、平成22年度のがん検診の受診率もとても低く、一番高いもので肺がんは40.9%、最も低い胃がんは14%でした。（裏面：表2）

こうしてみると、検診に対する誤解や、病気が重くなった場合にどうなるかを知らないこと、などが受診率の上がらない大きな原因と言えそうですね。



藤：昼間は検診を受けにくい、という人のために、夜間に検診をする案はあるのですか？

市：市でも検討したことがありますが、何名の人が集まるのかが読めなくて。あまり人数が少ないと経費がかさむ割に効果がなかった、となるのではないかと思います。意見があり、実現しませんでした。

藤：確かに、検診も大切な税金を使う事業ですから、ある程度の見直しは必要なのではないでしょうか。それでも、1回くらいお試しでやってみても良いのではないのでしょうか？

市：特定健診は国民健康保険に加入している人が対象なので、そういう方は日中に検診を受けることができます、と解釈しています。土・日の検診日を設けることで、平日は来られない方たちに対応するのが精一杯というところだと思います。

住民の意識作り、あれこれ

実は、東金市の死亡原因の第一位は「がん」。東金市ではがん予防にちなんだ標語を募集しています。この標語の優秀作品を9月4日に表彰する予定です。

藤：この標語を家族で話し合っ

めの良いきっかけになりますね。この日は東金東中学校吹奏楽部の演奏あり、特別講師の樋口強さんによる講演会や、座談会もあるとのこと。大変興味深いイベントですね。(お知らせ参照)

実は私の父は数年前にがんの世界しました。自営業者で社会保険には入っていませんでした。体調が思わしくないのを「疲れたらもう1年のせいだろう」と考え「明日はあの仕事がある」「お客さんと約束した」と、なかなか病院に行かないうちに取り返しのつかないことになっていました。もしもあの時、早めに病院に行っていたら、今頃は元気に孫たちと笑っていたかもしれないと思います。

市：病気のことや、健康づくりのことは保健師に相談してください。相談にお答えすると同時に、地域で行われている様々な健康づくりの情報もお知らせします。

藤：保健師さんと仲良くなって、健康な毎日を送ることができれば、自分もお財布も、地域の医療費も、みんなハッピーになれますね。家族のためにも、私は今年もがん検診を受けようと思います。

(藤本晴枝)

■進行度による治療費の差

◇胃がん

早期：465,000円(3割139,500円)
(内視鏡的粘膜切除・入院5日+定期検査2年分)
進行期：2,235,000円(670,500円)
(定型手術・入院17日+抗がん剤+定期検査2年分)
差額：1,770,000円(531,000円)

◇大腸がん

早期：1,200,000円(3割360,000円)
(切除手術・入院17日+定期検査2年分)
進行期：4,230,000円(1,269,000円)
(切除手術・入院19日+抗がん剤+定期検査2年分)
差額：3,030,000円(909,000円)

◇肺がん(非小細胞肺がんの場合)

早期：1,490,000円(3割147,000円)
(胸腔鏡手術・入院10日+定期検査2年分)
進行期：2,570,000円(771,000円)
(肺葉切除手術・入院15日+抗がん剤+定期検査2年分)
差額：1,080,000円(324,000円)

◇乳がん

早期：2,770,000円(3割831,000円)
(温存手術・入院7日+再発予防抗がん剤+放射線治療+再発予防ホルモン療法+検査費2年分)
進行期：6,070,000円(1,812,000円)
(手術前薬物療法+切除手術・入院7日+再発予防抗がん剤2年分+放射線治療+再発予防ホルモン療法+検査費2年分)
差額：3,300,000円(990,000円)

がん治療費.com

(表1)

お知らせ

「笑いは最高の抗がん剤」がん講演と記念演奏など
東金市では財団法人ちば県民保健予防財団との共催で「がん制圧月間推進事業 がん講演会」を開催します。東中学校の吹奏楽部の演奏や健康に関する標語・ポスターの展示、入賞者の表彰式も行われます。ご自分の健康について考える機会として、ぜひ、足をお運びください。

日時：9月4日(日) 9:00~12:15 場所：東金文化会館大ホール・展示室

【プログラム】第1部(9:00~10:30) 標語・ポスター入選作品表彰 東金市立東中学校吹奏楽部記念演奏
第2部(10:45~12:15) 記念講演「笑いは最高の抗がん剤」樋口強氏
座談会「がん検診の大切さ」樋口強氏・保健予防財団藤澤理事長・志賀市長

【講師】樋口強(ひぐちつよし)氏 紹介

いのちの落語家・作家、全日本社会人落語協会副会長。昭和27年生まれ。サラリーマン生活の中で43歳で肺小細胞がんを発症。手術と抗がん剤治療で克服するが、強いしびれなどの後遺症が続いている。手術後、自身の経験を元に「いのちに感謝の落語独演会」を開催し反響を呼ぶ。現在は、執筆活動、講演などにより「いのちの尊さ」を語り、生きる意味を問いかけている。著書『生きているだけで金メダル』など 《樋口強氏のホームページ <http://www.k4.dion.ne.jp/~higuchit/>》

(表2)

■平成22年度 東金市がん検診受診率

胃がん	14 %
大腸がん	21 %
乳がん	28 %
子宮がん	22.9%
肺がん	40.9%



新作

NPO法人地域医療を育てる会の絵本
「くま sensei no SOS」の新作が好評発売中です!!

「くま sensei no SOS」第2弾

「ルウとポノポノ」

500円(44ページ)

NPO法人地域医療を育てる会HPより購入できます。
<http://iryousodateru.com/kumasensei/index.html>

